

第 8 回定例教育委員会 会議録

開催月日 令和 3 年 10 月 6 日（水）

開催時間 午後 3 時 32 分から 午後 4 時 03 分まで

開催場所 教育委員会室

出席委員 教育長 三井 孝夫
教育長職務代理者 佐藤 喜美子
教育長職務代理者 岡部 和子
委員 松坂 浩志、小澤 幸子、長澤 重俊

出席職員 教 育 次 長 小田切三男
教 育 監 中 込 司
教 育 監 手島 俊樹
理 事 降籬 友宏
次長（総務課長） 藤原 鉄也
福利給与課長 田草川 耕
学校施設課長 古屋ひとみ
義務教育課長 秋山 克也
高校教育課長 高見澤圭一
高校改革・特別支援教育課長 保坂 一郎
生涯学習課長 鎌田 秀一
保健体育課長 上田 直人
総務課総括課長補佐 武井 俊人
総務課主査 新海佐貴子

高校改革・特別支援教育課
主幹・指導主事 山下 英志

傍聴人 1 名

報道 0 名

会議要旨

[教育長開会宣言]

1 議 案 な し

2 報告事項

(7) 令和 4 年度使用山梨県高等学校用教科用図書採択の変更について
[説明] 高校教育課

【 了 知 】

3 その他報告

- (7) 令和4年度山梨県公立高等学校・山梨県立特別支援学校高等部入学者選抜実施要項に定める「特別日程」について

[説明] 高校改革・特別支援教育課

【 了 知 】

4 その他

出席委員から、学校教育全般について意見があった。委員からの意見の概要は次のとおり。

佐藤委員

10月5日と6日に山日新聞に載りました県立大学の学校推薦型選抜入試の内容のことで、私達は、ああいう所から何か勉強しなければいけないなと思いましたが、大学が公平性ということを重く考えてくださったということなんですけれど、それぞれの諸事情と申しますか、そういうものがある中で、もう少し心ある対応と申しますか、そういうものができなかったのかなということも思いました。小中高、私たちが現場の様子を見ていて、いじめや不登校や校則の見直し等、個別に特別な配慮を必要なケースというのが増えていまして、その一つ一つにおいて愛情のあるというか、人間的なというか、心ある対応をやっていかないと、ますますいじめや不登校や、そういうものが増えていくのではないかなということも危惧しまして、他人の心の痛みが分かるというようなことを全ての教職員がしっかり遠くから絶えず言い、心ある対応をどんな時にも考えていけるような、そういう山梨県であってほしいなということもすごく思いました。

すみません、以上です。

教育長

ありがとうございました。
おそらくそういったことをすると、また教員志望者そのものも増えるのではないかと伺いして思いました。魅力が出るんじゃないかなと。おっしゃるとおりだとご賛同させていただきます。

松坂委員

2点ほどあるんですけど。
まず1点は、来年初めて甲府工業の専攻科の卒業生が出ますよね。その専攻科が当初目的としていたような就職活動なり、当初考えていた内容にある程度、予定どおりになっているのかどうか。就職の報告だけで終わるのではなくて、今の状況、例えば求人状況とか生徒さんが望んだような形になっていくのか。教育委員会で考えた専攻科が、当初の目的のようになっているのかどうか。そここのところを事前に、少し経ってからちょっと全然違いますねというのではなくて、ある程度つかまえられるのでしょうかというところをちょっと思っているんですけど。どういったつかまえ方がいいか分からないけども、専攻科については高専等の色々な話があったんだけど、高専をやめて専攻科になったというところで、その本来の目的に達しなければ、もう一度やはりそこを考え直さないとだめかなというようなところが実はあるんですけど。それがやっぱり事前に結果で就職なりにどうでしたではなくて、もうちょっと踏み込んだ今の段階で何か捉えられないかなというふうにはちょっと思っています。

教 育 長

まずその点なんです、まさにおっしゃるとおり元々専攻科を作る時には、地元の主たる機械電子工業にしっかりとした人材を送り込みたい、それも例えば設計とか企画ができるようなところまでの単なる工場の工員ではなく、技術者を送り込みたいという考えがありました。高専にしてしまうと外に出てしまう人が多くなってくるので、まさに県内の企業にそういった人材を送り込みたいということで作った学校です。そのためにデュアルシステムとって、企業に行って実際に何をやるのかということ学びながら2年間勉強してくるという形で、学校にいながらマッチングしていくというようなことで、成果がきちんと出ているのか、つい最近内部状況を確認いたしました。今の段階では個人個人の企業等をどこまでオープンにしていくのかということもありますし、個人情報に少し触る可能性もありますので、全体としてはおっしゃるとおり我々も非常に高い関心を持っている中で、まだ調査したばかりですので、近々内々の説明になるのか、オープンでできるのかとか、どこまですればいいのかということも含めて、ご報告させていただければと思っております。

松 坂 委 員

それと私、一番興味があるのは、その進捗というよりも、そういう人材に育ったかどうかということに非常に興味があって、高専だと県外に出るというのがあるけれども、やっぱり高専の魅力ってものすごく高いんですよ。だからそういう意味では、本当にその代替になっているのかどうかということが非常に興味があります。ですから、そういったところの目的が達せないのであれば、もう一度やっぱり高専を考えるべきということも私は思うんですけど。そういったものを県民の人達がみんな注目していかないといけないと思うんです。

教 育 長

2点目のどこまでフォローすればという議論は若干その時に出まして、いずれそのフォローをすることによって存在意義というか、専攻科の価値がどうなのかということ再評価するのに必要であり、それは入ってしばらくしないと評価にはならないと思いますので、入るまではデュアルシステム等でそれなりに評価をいただいたところで、実際に就職した後にどうなのかというのがありますので、その方法もちょっと検討させていただいて、こんなことをしたいですというような提案もさせていただきながら、そのご報告もさせていただきます。

松 坂 委 員

あと1点だけいいでしょうか。
あと1点は、これ別に何か問題があるとか、そういうことではないんですけど、インターンシップってありますよね。総合的にどういうふうな体系があるんでしょうかというのをちょっと聞いてみたかった。例えば小学生でも職場体験とか何かやっていますよね。先日近くの高校からインターンシップを頼まれたんですけど、インターンシップの基本的な考え方と今のやり方あって、コロナの影響を受けているみたいで、非常にやりにくいというか、先生達も頼む際に知り合いを頼って今やっていますよね。知り合いだけを頼ってやるのには限界があって。例えばインターンシップの企業をここにあるリストの中からそれに合った形をやるとかという、何かそういうサポートがないと、その部分を先生が個別に知っている人をお願いして頼むんですかと聞いたら、そうだというから、いや、それじゃその情報が限られた所しかなければ、もうそこにだけ頼んでいるんだということになったら、それちょっと大変ですよという話から、何か色々考えられることは一緒にできるよう考えていきますと言ったんですけど。高校生でお願いされたけれど、進学校なので、すぐに就職するわけではなくて、多分就職に対する考え方や仕事ってどんなことがあるかが分かればいいのかというふうな受け取ったんですけど、もし目的が違っていたら、それに合うようなメニューを、例えば県内の中をお願いするとか、先生が選んだら無料でできるというようにしないと、ちょっと大変だろうなと実は思ったんですよ。それでインターンシップの小学校、中学校、高校を含めて、どんな取り組みや目標があるのか教えてもらえればと思います。

教 育 長

おそらく小中高全体で体系立ってとはなっていないと思います。高校のインターンシップですと、やはりそれぞれの高校の特性に応じてやり方もかなり変わっていると思いますので、全体を整理したものでまた見ていただきたいと思います。

松 坂 委 員

たまたまそういう機会があったからなんですけれど、結構やめる方が多いんですよ。就職したけれども短い期間でやめてしまう。それは、こういう仕事だと思っていただけで違ったという人もいるとは思いますが。意外と就職に対して、こういうことをしたいというようなものが、例えば小学生でも中学生でも何になりたいかと聞いてもほとんどないんですよ。大学生に聞いてもほとんどなくて、海外はほとんど目標というか、みんな答えるんですよ。でも日本ってほとんど答えないので、そこの、そういったことに繋がっていくのかなというのをちょっと思って、だから本来そのインターンシップが正常に行われるとか行われなとかというよりも、将来こういうものになりたいとか、こういう仕事があるというふうなことを知らないとか、何かそうになってしまうのかなと思って。今回そんなことでインターンシップのことを聞かれたので、その辺を体系的に知りたいなと思ったので。体系的にというか、インターンシップで学んだことがどう生かされているか少し心配になったので・・・。

教 育 長

まさに小中高、ステージによって見てもらいたいものというのが違うと思いますが、そういうものがしっかりと出来ているのか。あるいは松坂委員がおっしゃいましたが、コロナの中で今実際どうなのか。実は私、この夏に山梨学院大学の教授から電話があり、公務員のインターンシップ先について、役所などをお願いしていたけれど、コロナの関係で来てもらっても困ると言われ県庁で一部インターンシップを受けてくれないかという相談を受けたんです。今のお話を聞いていて、我々の学生、児童生徒はどうなっていたんだろうと今思いました。それも含めてちょっと現状を私も知りたいなと思いますので、また整理して皆さんにご報告させていただければと思っております。

[教育長閉会宣言]

以 上